

平成20年度野生鳥獣に負けない集落づくり事例

長野市松代町豊栄(赤柴地区)の事例



長野地域野生鳥獣被害
対策チーム

1 . 赤柴地区（事業実施地区）概要

- ・中山間地域である。
- ・山際の桑園は荒廃しているが、基盤整備後の圃場では兼業農家主体に水稲、野菜、果樹等が栽培されている。
- ・美味しいお米やじゃがいもができる。

世帯数	農家数	専業兼業別		主要作物の作付面積（h a）						
		専業	兼業	水稲	ばれいしょ	かぼちゃ	その他野菜	果樹	その他	合計
78	32	10	22	6.1	1.5	0.5	3.0	0.5	0.6	12.2



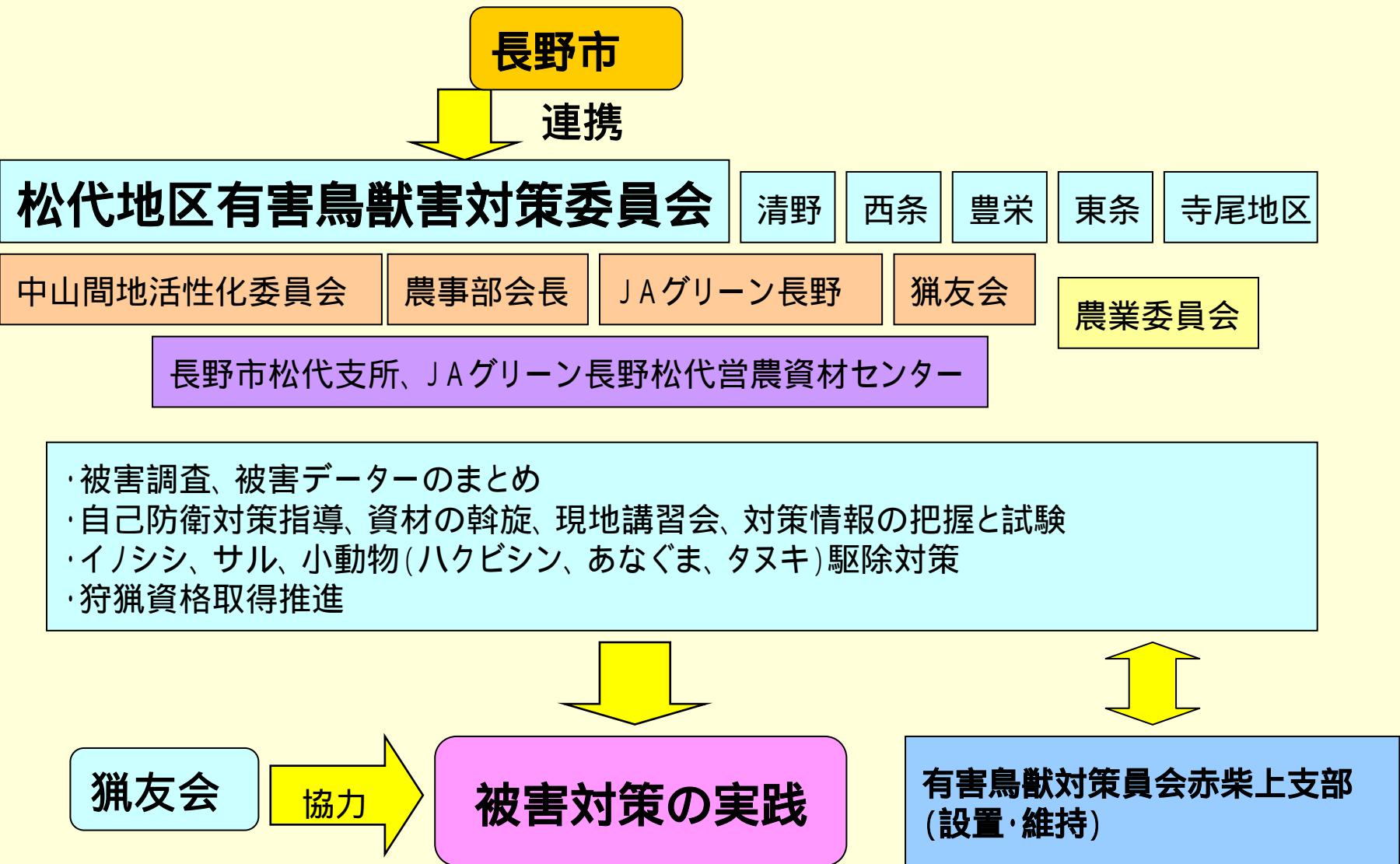
2 . 農作物被害発生状況

- ・ 近年、イノシシによる農作物被害が拡大しており、深刻な問題になっている。
- ・ 岡の入地域の水田は被害が全域。
- ・ ジャガイモやカボチャは、ほぼ全滅。



鳥獣名	作物名	作付面積 (h a)	被害発生面積 (h a)	推定被害金額 (千円)
イノシシ	水 稻	6 . 1	0 . 9	1 , 2 4 2
	ばれいしょ	1 . 5	1 . 0	1 , 4 5 2
	かぼちゃ	0 . 5	0 . 5	3 1 0
	大豆	2 . 0	0 . 8	2 9 6
	加工用トマト	0 . 5	0 . 2	6 1 5
	大根	0 . 5	0 . 1	1 0 0
	果樹	0 . 5	-	-
	その他	0 . 6	-	-
	計	1 2 . 2	3 . 5	4 , 0 1 5

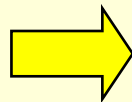
3 . 地区被害防止体制の組織図



4 . これまでの地域の対策

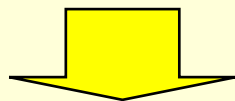
自己防衛と猟友会による捕獲

- ・個々にトタンガードや電気柵を設置
- ・毎夜の見回り

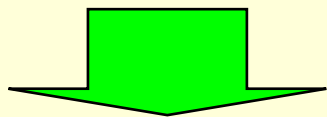


大変な労力と神経を費やす

- ・イノシシ檻を4基設置(中山間地域直接支払事業)
- ・地元猟友会に駆除の委託



完全な防止対策にならなかった



地域ぐるみの対策へ



5 . 有害鳥獣対策モデル地区へ

中山間地域直接支払事業での結束

豊栄市ノ川地区の共同電気柵での効果の実感
(平成19年度野生鳥獣被害総合対策事業)

平成19年10月
中山間地域直接支払事業に加入している耕作者全員が集
まり合意形成。

赤柴上、岡の入地域全域をカバーする電気柵の設置

県、市等へ補助事業の要請

平成20年度野生鳥獣被害総合対策事業の認可

有害鳥獣対策モデル地区(集落)になる

6 . 地域ぐるみの対応（電気柵設置事業）の概要

事業名：野生鳥獣被害総合対策事業（県単）

内 容：電気柵（面積12.2ha、延長2,560m）

受益農家：32戸

事業費：106万円、補助金44.7万

平成20年7月事業実施、同年10月事業完了



3段張り
面積:12.22ha
総延長:2,560m

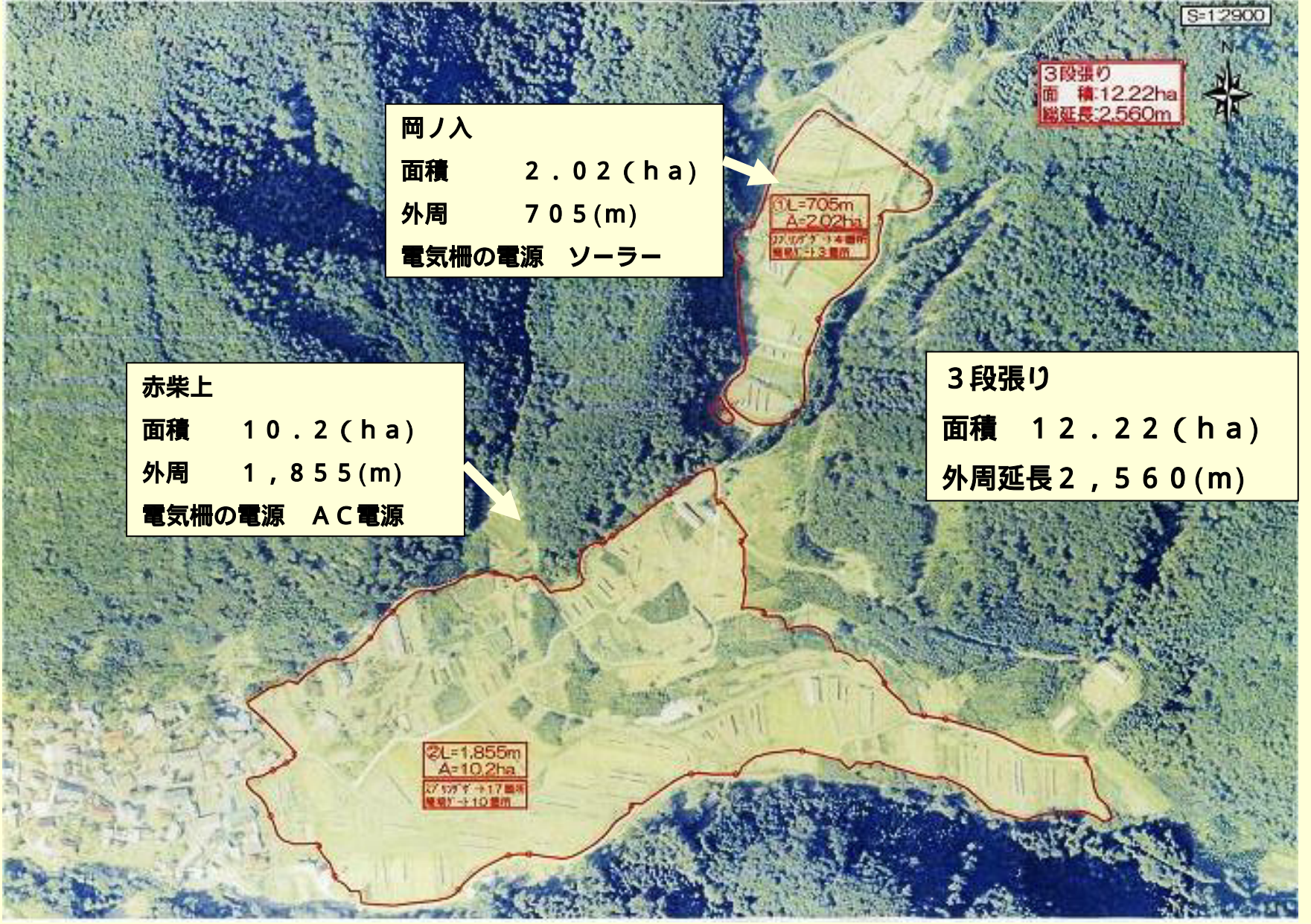
岡ノ入
面積 2.02 (ha)
外周 705 (m)
電気柵の電源 ソーラー

①L=705m
A=2.02ha
22V鉛蓄電池1本
電圧計1本

赤柴上
面積 10.2 (ha)
外周 1,855 (m)
電気柵の電源 AC電源

3段張り
面積 12.22 (ha)
外周延長 2,560 (m)

②L=1,855m
A=10.2ha
22V鉛蓄電池17本
電圧計1本



7 . 平成 2 0 年の地区の主な動き

4月29日 棚田管理委員会総会

(電気柵の設置確認、有害鳥獣対策員会の立ち上げ確認)

6月 3日 県、市によるモデル地区の現地調査

7月19日 電気柵設置事前作業(NPO後藤氏の指導)

7月20日 電気柵設置作業 全員参加30名

NPO後藤氏指導、県、市、JA支援

7月27日 電気柵設置作業(未完成の部分)

// 完成 後藤氏の指導

8月10日 役員、班長会議 ゲート管理等について細則決定

8月11～13日 各班長 電線下の除草剤散布

9月 各自 電気柵下の除草

8 . 長野地域野生鳥獣害対策チームの活動

平成19年12月3日発足 地事林務課(事務局)、地事農政課、普及センター

チームの活動内容

- ワンストップ対策(電話や現地での問合せ)
- 啓発対策(研修会、現地検討会)
- 集落ぐるみの被害対策支援
 - ・モデル集落被害対策支援
 - ・被害情報、対策マップの作成指導
 - ・合意形成、被害対策計画の策定支援
 - ・対策実施支援

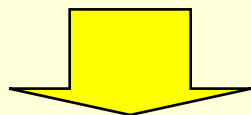


**補助事業や捕獲など各所属で完結できるもの以外は
対策チーム(林務課、農政課、普及センター)で対応**

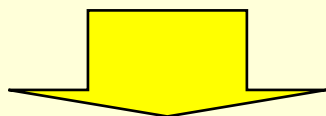
実際、現地に出るとさまざまな課題や問題がある

(1) 豊栄地区の長野地域対策チームの活動

平成18年11月8日 市ノ川・鳶沢地籍猪電気柵設置打合せ会議
NPO法人ツキノワグマ研究会後藤氏(対策支援チーム)の指導
電気柵の効果的設置方法について



豊栄市ノ川地区の電気柵
(平成19年度野生鳥獣被害総合対策事業)



隣接地域(赤柴地区)へ波及



2)豊栄地区のH20年の対策チームの活動

平成20年

1月 市町村へ対策の重点(モデル)集落の推薦依頼

長野市では、豊栄がモデル集落となる

4月 現地調査2回 (県単事業、カバー作物について)

対策支援チーム、桜井、菅沢研究員出席

センチピードグラスの栽培試験設置

5月 現地巡回 対策後の作物栽培について

加工野菜栽培(かぼちゃ)栽培講習会

6月 3日 長野市の野生鳥獣被害対策モデル地区現地調査

被害情報、集落チェックマップの作成指導

7月10日 電気柵設置支援 NPO後藤氏、市、JA、メーカー

班ごとに実施、支援指導

10月29日 現地巡回 電気柵、センチピードグラス試験調査

10月31日 有害鳥獣対策検討会 電気柵の点検、意見交換
NPO後藤他



(3) 電気柵設置支援

設置も大変だと実感。他地域での経験が生かされた

7月20日 受益農家全員参加 約30名・女性も参加



4)加工野菜の栽培について

電気柵設置後の遊休荒廃地をなくすため、省力作物のかぼちゃの栽培



(5)センチピードグラスの作付け

中山間地のため圃場の畦畔やノリ面が大きく管理が大変

- ・電気柵の電線下の草刈の省力化
- ・野生鳥獣の隠れ家をなくす



9 . 対策の効果

- ・電気柵設置後、農地の被害は皆無になった。
- ・加工野菜の生産組織ができ、集落営農の取組みが始まってきた。
- ・地域ぐるみの対策が他集落へ波及。モデル集落になった。

- ・電気柵をみんなで張ったことで、コミュニケーションが取れた。
- ・夜も安心して寝ることができた。

10 . 今後の課題

- ・電気柵設置後の維持管理支援
集落チェックマップを作成し、維持管理対策の策定
- ・道路を横切る電気柵の管理方法(開け閉めの徹底)
- ・畦畔管理作物(センチピードグラス)の導入。

11 . 成功に至ったポイント

専門家に足を運んでいただき、有効かつ効率的な対策ができた。

中山間地域直接支払事業により農地が維持され、地域がまとまっていた。
また、モデル集落の代表が地域を積極的に集落をまとめた。

地域の合意形成が早期にできた。
集落の柵田管理委員会からも補助残の一部を助成した

長野市と野生鳥獣被害対策チームと連携を図った。

